

# CD-R / CD-RW の将来展望

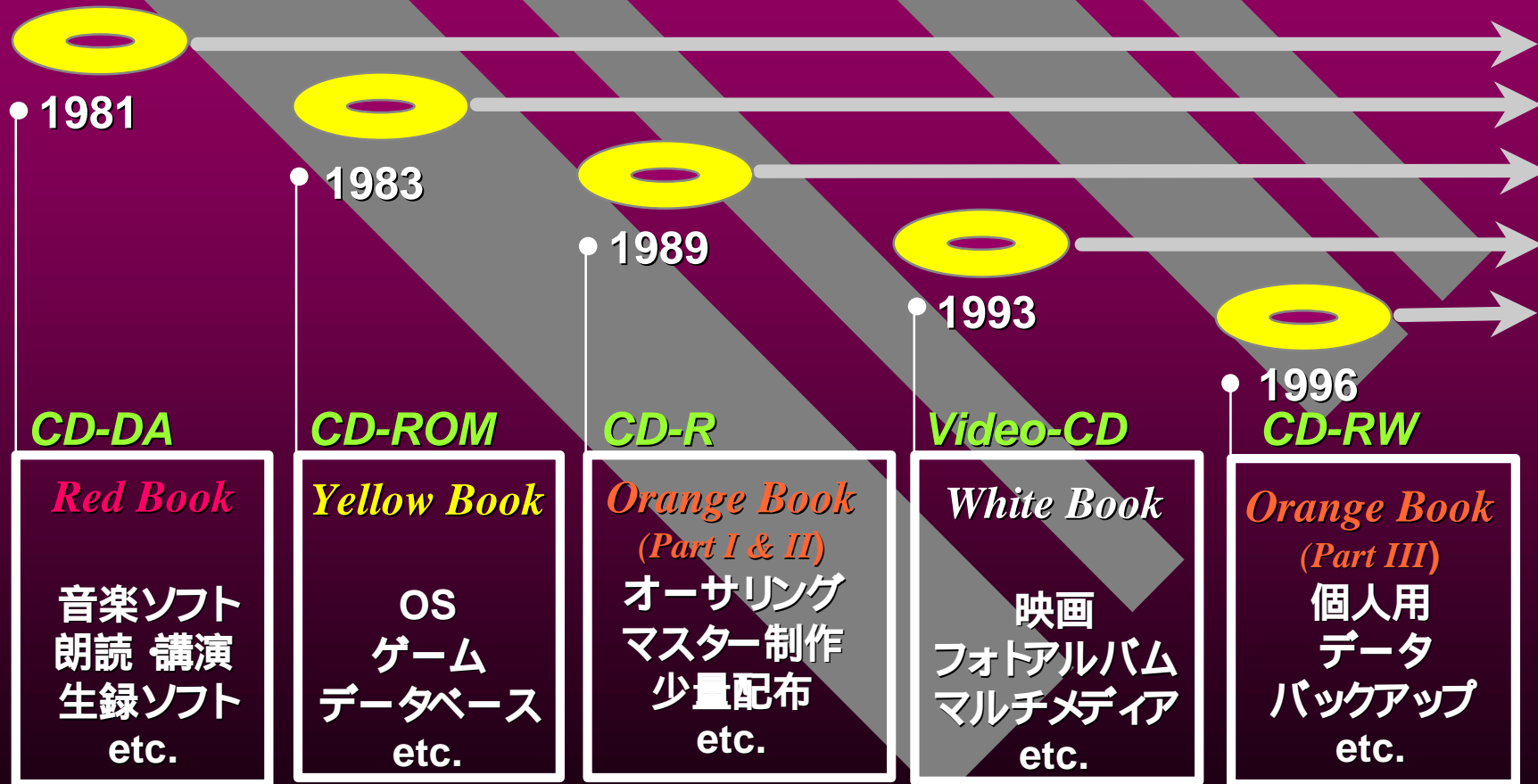
*ORANGE FORUM SEMINAR*

*February 19, 1998*

オレンジフォーラム (OSJ) 会長

中島平太郎

# CDプラットフォームの発展



# 大容量記録メディアの必要性

画像情報の拡大、インターネットの普及等によるデータ容量の増大

	MB	FD枚数
36枚の Photo CD イメージ	180	129
30分間の M P E G 1 動画	270	193
10分間の電話メッセージ	12	9
セールス・プレゼンテーション	20	14
30階建てビルの青写真	100	72
7年間分の財務データ	10	7
インターネットホームページ		
個人ページ	5	5
企業ページ	500	376

記憶容量 650MB の CD - R / CD - RW なら、これらのデータが1枚に収められる

# 大容量記録メディアの特徴

	磁気テープ	ディスク			半導体メモリ
		R - HDD	MO	CD - R	
記憶容量	25GB	1GB	650MB	650MB	4MB
記録方式	磁界変調	磁界変調	光磁気変調	光変調	-
転送レート	3MBps	5.5MBps	3.1MBps	0.9MBps	-
アクセス時間	45 sec.	12ms	30ms	250ms	0.01ms
ビット単価 (¥ / MB)	0.1	10	7	0.3	2000

# 650MB 記録メディア

		CD - R	CD - RW	PD	MO
<b>機能</b>		Write Once	Rewritable	Rewritable	Rewritable
		Disc Drive	Disc Drive	Disc Drive	Disc Drive
<b>CD互換性</b>	CD Family Disc				X
	CD Family Drive			X	X
<b>コスト</b>	ディスク単価	¥200	¥2,500	¥5,000	¥4,500
	ビット単価 (¥/MB)	0.3	4	8	7
	ドライブ単価	¥55,000	¥70,000	¥85,000	¥110,000
<b>Usability</b>	アクセス時間	250 m s (x6)	250 m s (x6)	165 m s	30 m s
	転送レート	0.9 MBps	0.9 MBps	0.87 MBps	3.1 MBps

# CD-Rの特長

---

- CD-ROMドライブとの互換性
- 650MBの大容量
- データ保存の高い信頼性
- ビット単価が低価格
- ライト・ワンス

# CDプラットフォームの発展

		CD - DA	CD - ROM	CD - R
Disc数量	97年	25億枚	8.8億枚	2億枚
	累計	143億枚	23億枚	3億枚
Playe数量	97年	9000万台	6600万台	200万台
	累計	5億7800万台	1億9000万台	400万台



# 1998年市場予測

---

CD-R ドライブ: 600万台

CD-R メディア: 3億 2300万枚

# CD - R / CD - RWの将来

広範な普及のために

機能の向上

高速記録

パケット記録

ディスクハンドリング

機能の拡大

CD - R

CD - RW

DVDの世界

# CD - R / CD - RWの将来

## 利用の拡大のために

### 現在の用途の拡大

アーカイビング  
ペーパーレス化

入力環境の整備  
ファイルの工夫  
ディスプレイの向上  
互換性の制限

### 新しい用途の開拓

パーソナルユースへの展開  
情報公開の担い手として

# パーソナルユース

---

インターネット端末としてのパソコンは  
毎月平均 3GB ~ 15GBの情報に触れている

パーソナルな情報収集、編集、加工、配布に

**650MB**

を使いこなす時代

パーソナル デジタル出版のススメ

# 情報公開の担い手として

---

インターネットなどを通じた  
情報の蓄積と増殖

CD - R / CD - RWは、  
強力な  
“マルチメディア・プリンター”

スモール・パブリックの形成

# CD - R / CD - RWの将来

---

パーソナル・マルチメディア

スモール・パブリックの Key Media